

請 願 文 書 表

<p>請願第7号 国民健康保険税の負担軽減を求める請願 (令和5年2月15日受理)</p>	<p>厚生委員会付託</p>
<p>請 願 者 東京都八王子市追分町6-14 フォーラムはちおうじ内 八王子社会保障推進協議会 上原 弘夫 横山 敏郎 外1,740名</p>	
<p>紹介議員 前田佳子 石井宏和 鈴木勇次</p>	
<p>請願趣旨</p> <p>新型コロナ禍が4年近く続き、物価高騰も加わって国民生活はますます厳しい状況となっています。国民健康保険は国民誰もが加入できる保険制度であり、日本の皆保険制度の根幹をなすものです。しかし、全国どこでも国民健康保険税の負担が加入世帯の生活を苦しめています。</p> <p>八王子市は令和4年(2022年)10月から令和4年度(2022年度)新型コロナウイルス感染症の影響に係る国民健康保険税の減免の申請を受け付けています。新型コロナ禍で苦しんでいる世帯を適切に援助するという意味では重要な施策といえます。</p> <p>新型コロナ禍で生活困窮者が増える中、国の国民健康保険財政健全化計画の押しつけにも抗して、値上げの見送りや一般会計からの法定外繰り入れなどで値上げ幅の抑制努力をしている自治体もあります。東京都が令和4年度(2022年度)保険税改定時に出している令和4年度(2022年度)確定係数に基づく標準保険料率を見ると、八王子市が令和5年度(2023年度)に計画している国民健康保険税の改定幅が見えてきます。それによると、医療給付費分(0.5%増)、後期高齢者支援金分(0.2%増)、介護納付金分(0.3%増)となり、金額にして6,100円の値上げとなり、国保加入者の生活を直撃します。</p> <p>一方、他の市区の国保財政健全化計画を見ると、立川市は赤字額11億円に対して令和5年度(2023年度)までで4億円程度の削減に抑えています。日野市も11億円に対して1億7,000万円、昭島市は6億5,000万円に対して8,400万円、町田市は32億円に対し8億7,000万円、八王子市より赤字幅が大きい足立区が47億円に対して9億8,000万円、大田区が57億円に対して13億円と、厳しい生活状況の中で多くの市区が赤字削減幅を抑えています。しかし、八王子市は31億円の赤字に対して、41億円もの赤字削減予定額になっています。なぜこのような数字になるのでしょうか。</p> <p>国民健康保険制度は憲法第25条に基づく社会保障制度です。加入者は年金暮らしの高齢者、自営業者、非正規雇用など収入の少ない人が多く、国や自治体が財政支援を行って国保税の負担軽減に努める責任があります。八王子市はこれに逆行していると言わざるを得ません。</p> <p>令和4年(2022年)4月からは国民の要望が強かった国民健康保険税の子どもの均等割額負担軽減が国によって実現し、未就学児までですが5割減額が実施されました。しかし、稼</p>	

働所得のない子どもにまで国保税をかけるのは、健康保険組合などの公平性の観点からも根本的に見直すべきです。

請願事項

1. 令和5年（2023年）4月からの国民健康保険税の値上げは行わないでください。
2. 東京都や国に対して、国民健康保険税を協会けんぽの保険料並みに引き下げられるよう、財政支援を呼びかけてください。
3. 国民健康保険に加入している子どもの国民健康保険税「均等割」は、子育て世代の家計を圧迫しています。子育てしやすい八王子市を実現していくためにもさらなる保険税軽減のため、八王子市独自の施策を講じてください。